

## みんなで地域づくり事業企画書

団体名	四街道・科学未来からくり倶楽部	
事業名	科学実験・工作教室支援事業	
目的・必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームやインターネット等の影響でバーチャルな世界に没頭する余り、現実意識が減少傾向にある子供たちに、実生活での問題の解決能力、生活習慣を育成する。</li> <li>・子供たちに、科学の面白さを知ってもらうために驚きや発見を体験し、好奇心旺盛で創造性豊かな感性、自由な発想意欲を育てる環境を提供する活動を行う。</li> <li>・その企画、実行ができる人材を確保、理科支援員として養成できる事業とする。</li> <li>・小学校を核として、周辺地域の連携と世代間の交流の場を提供する。</li> </ul>	
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域に伝わる遊び、ものづくりの体験を指導できる人材を「指導員」として募集し、放課後を有効活用した世代を超えた地域コミュニティの場を作る。</li> <li>② 小学校において高学年を対象に、「科学実験・工作教室」を企画し、定期的かつ継続的に実施する。</li> <li>③ 市内の児童・生徒による未来の科学や世界の夢を描いた絵画を募集し、優秀作品を(公社)発明協会が主催する「未来の科学の夢」絵画展全国大会へ推薦する。</li> <li>④ 理科教育の支援をできる人材確保、調査活動を継続し実現に向けた基礎を築く。</li> </ol>	
スケジュール	時期	具体的な取組
	平成27年4月	事業の具体的な実行を開始、会員募集、学校等、関係機関との調整 「科学・工作クラブ」新年度スタート(毎月1回開催)
	5月	科学実験・工作进行を指導できる地域の指導員の募集・養成 市内各校、関連団体へ活動を紹介、内容の充実、地域の拡大を図る
	6～9月	「未来の科学の夢」絵画展PRおよび作品募集 夏休みのイベント、施設見学会の実施
	10～11月	絵画展の審査会、展示会を実施し、優秀作品を全国大会へ推薦する 科学実験、工作に活用する教材、実験機器を開発、製作
	12月	次年度に向けた実行計画、各学校とのスケジュール調整 具体的な支援方法、内容の検討、マニュアル作成等
	平成28年3月	活動の完了、事業完了報告まとめ 次年度の活動に備えたプログラムを決定
役割分担の想定	(団体の役割) 事業・活動内容の企画、実行計画策定、実施運営、収支予算管理、実施報告 理科実験教室を支援できる人材の確保、養成 実験教材、機器の開発、調達、並びに実験、実験機器取扱いにおける安全対策徹底 民間企業、関係機関への支援、協力働きかけ	
	(市の役割) 小学校の理科学習指導要綱との整合性の確認 活動拠点(旭公民館)の確保、広報掲載等PR活動への援助 「未来の科学の夢」絵画展実施の承認、審査会および展示会開催の支援 教材、実験機器調達費用の補助	
他団体との連携	旭小学校、旭公民館および市内各小学校、近隣教育機関(中、高、大学等) 地元自治会、商工会、民間企業等	
期待される成果	将来は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国規模の創意工夫コンテスト等で競うことのできるレベルの活動を目指す。</li> <li>・市内全域に展開できる活動とし、科学を通じて幅の広いコミュニティを築く。</li> <li>・市内20%以上の小学生児童が参画できる規模拡大を目標とする。</li> </ul>	